

京都 便利堂 だより

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

2026 VOL.26
7/8
盛夏号

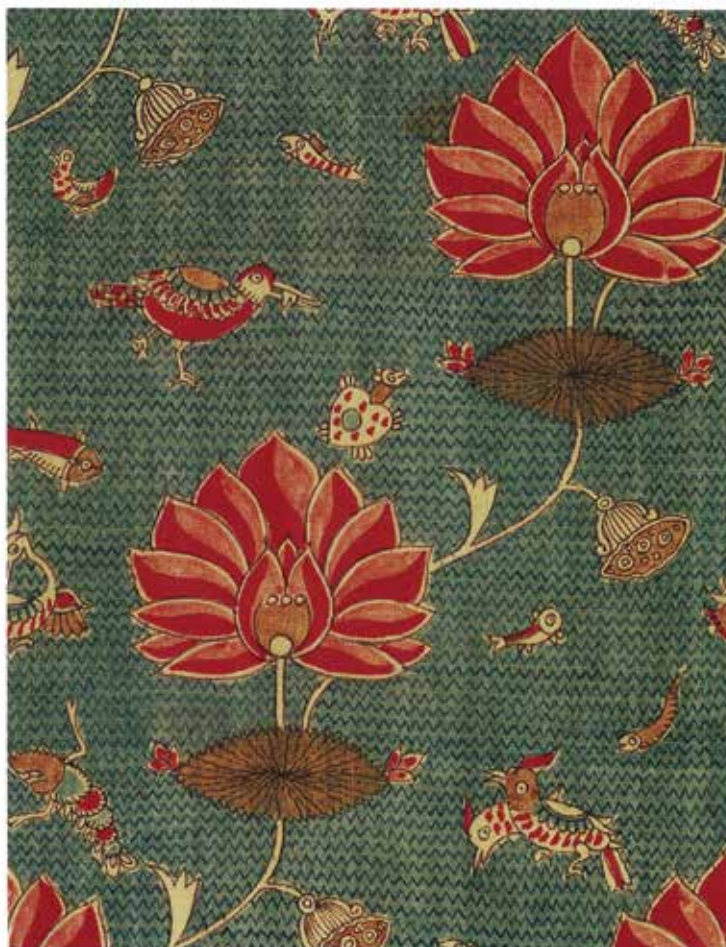
アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

空想

便利堂創業物語

便利堂創業140年記念●便利堂創業者・中村弥二郎さん



おかげさまで
創業140年

BENRIDO
SINCE 1887

日本文化の美とともに
歩み続けて140年



【特集】
新商品&季節のおすすめ
かわいい動物から妖怪まで●夏におすすめの美術商品をご紹介します

アートのある暮らし

●コロタイププリント

日々の生活に美術を取り入れることは暮らしに彩りを与えてくれます。便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らす日常風景をご紹介します。



写真・山内崇誠(便利堂写真工房)



植田正治〈童暦〉コロタイプ・ポートフォリオ 12作品を収録 エディション:30 ¥1,100,000

1971年に創作された植田正治(1913-2000)の《童暦》は、山陰の風土や風景を植田独自の視点で作品に取り入れたシリーズです。鳥取の季節の移り変わりとともに、その地に住む子供たちを題材にした作品群を限定部数のコロタイプ・ポートフォリオとして制作しました。

2006年制作 / 12点の白黒コロタイププリントのセット / ハンドプリントの布製ボックスに収納 / 紙: 鳥の子 / 用紙サイズ: 35.5 × 43 cm / テキスト: 巖谷國士 / 植田正治事務所による刻印と番号付

コロタイプ・プリント / ポートフォリオはこちら



本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

折々の絵はがき

《彦根更紗 浅葱蓮虫文様更紗》
江戸時代 東京国立博物館蔵

「更紗」とは、主に17世紀より日本にもたらされたインドを起源とする染めによる布を指します。洗っても色落ちしない、堅牢でいて異国情緒あふれる染めは日本を含む世界中を魅了し、交易の品として広く用いられていたそうです。

本品は彦根藩を治めた井伊家に伝わる「彦根更紗」と呼ばれるもの。16世紀から18世紀頃に制作された450枚もの更紗を1枚ずつ紙に貼り付けた、そのうちの1枚です。そのほとんどはインド製ですが、扇を散らした「扇手」などの文様は輸出先である日本人の好みに合わせて染められたと考えられており、中には「和更紗」と呼ばれる日本製の製も含まれています。

まず目を惹くのは一風変わった切り口で描かれた蓮の花でしょう。そこから蔓を伸ばした先には骨董のベルにも似た花托が揺れ、水面は細かな波線で表現されています。しかし本作の見どころはなんといってもその周りにいる生き物たち。ハートの甲羅を背負った亀がのんきそうに泳いでいるかと思えば、花のような羽を豊んだ鳥は上手に魚を捕まえ、水玉やストライプ柄の魚のほか、見たこともない虫たちはあたかも躍るように描かれています。裂に広がる自由でいて平和な世界は日本人たちの遠い国への憧れをさぞかし掻き立てたにちがいありません。



表紙の絵はがき:
絵はがき〈彦根更紗 浅葱蓮虫文様更紗〉¥110



京都 便利堂 だより

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

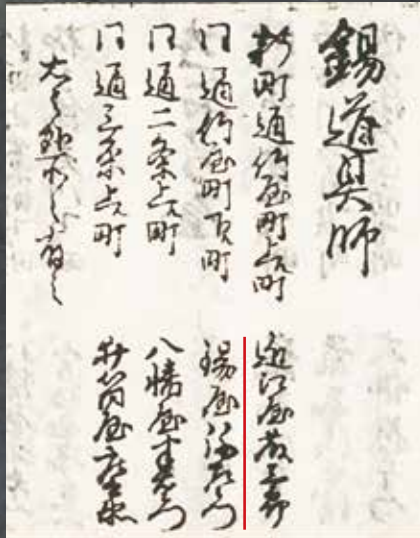
2025 VOL.26
7/8
盛夏号

CONTENTS

アートのある暮らし	02
便利堂ものづくりインタビュー 中村弥二郎さん	04
季節のごあいさつ 26	10
美術はがきソムリエの 絵はがきマリアージュのススメ	11
【特集】 新商品&季節のおすすめ	12
Information	16

2026年 7月1日発行 (奇数月発行) 企画・制作・発行 株式会社便利堂
Director 鈴木 巧
Chief Staff 西川 愛
Staff 増尾麻黄 / 渡邊 葵 / 小川朝永

※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。



『改正増補 京羽二重大全（8巻）』（寛量著 / 延享2年[1745] 京都大学附属図書館蔵）
第3巻の「錫道具師」の項に4軒の錫屋が挙げられており、その2軒目に「同（新町）通竹屋町下ル町 錫屋弥左衛門」との記載がある。4件とも新町通りに並んでおり（竹屋町上ルに「近江屋」、二条上ルに「八幡屋」、三条上ルに「井筒屋」、当時この通りが錫屋通りであったことが分かる。



「錫屋弥左衛門」の錫製品
（背景写真は錫製品に押された「京錫屋弥左衛門」の刻印）

便利堂書店 三条小路店（明治37年頃）
当時三条小路西入にあった店舗前で当時の店員と撮影した写真。入り口中央手前が三男・伝三郎（26）と長男・弥左衛門（徳太郎）の長女・まん（6）、その向かって右手に弥左衛門長男・静太郎（0）をおぶった母・ヤサ（54）と四男・竹四郎（14）。右端の立て看板には、前年に出版した『松年画譜』のタイトルが見える。（図版は画像処理によるカラー再現）

便利堂 ものづくり インタビュー

空想

【第26回】



おかげさまで
創業140年

BENRIDO
SINCE 1887

便利堂創業物語

◎中村弥二郎さん

手ごろな商品を通じて美術をより身近に親しんでいただきたい。企画・デザインから制作まで、妥協のない姿勢で取り組んでいる便利堂のものづくりの裏側を、作り手の声でご紹介していきます。



中村弥二郎（1873-1944）

今回の「空想」インタビューは、この7月1日に便利堂が創業140年を迎えることを記念して、創業者の中村弥二郎さんに創業当時のエピソードなどについてお話を伺いました。

中村弥二郎さん
1873年京都生まれ。1887年、14歳で便利堂を創業する。長男の弥左衛門に便利堂を譲り上京。1903年、出版社「有楽社」を創業し、近代漫画雑誌の草分け『東京ハツク』の刊行など、ユニークな出版物で一世を風靡する。1944年没。



——弥二郎さんは弱冠14歳で便利堂を創業されました。これはどういった経緯なんでしょうか？

率直に言うとうに困ってだよ。中村家は、奈良の平城京から平安京に遷都された時に一緒に京都に移ったと言われる由緒ある旧家でね。古くから「錫屋弥左衛門」という屋号で宮中にも出入りを許された錫道具屋だった。ところが明治維新後、天皇陛下が東京に行かれてしまったものだから、京都はすっかり不景気になってね。そしてどんどん西洋風の生活様式が進み、錫道具は陶器やガラス器に取って代わられて廃れる一方。家業はどん底で、何か新しい商いを始めないと……というわけ。

——錫屋が便利堂の前身だったんですね。確かに、この『京羽二重大全』という江戸中期の京都のガイドブックに載っている錫道具屋4軒のうちの1軒に「錫屋弥左衛門」の名前が挙がっています（左掲図版参照）。錫屋ではどんなものを扱っていたんですか？

茶壺・茶筒や、徳利・花器・皿などの神事用・生活用の錫道具だね。茶心壺なんかは、その筋では今でも珍重されて人気があるようだよ。

——その老舗の錫屋からの商売替えは簡単ではないですよ。ご両親はどんな方だったんでしょう？

中村家の当主は代々「弥左衛門」を襲名していて、父の本名は弥作。ひとことと言うと、「いい人」。大変な癪癪持ちだったけど、一方で「ほとけの弥作」と呼ばれるほどだったね。

——仏ですか？

人情味あふれる話ですね。お母さんのヤサさんは？

名前の通り心やさしい人。息子4人と娘（ヒサ・14歳で夭折）を愛情持つて育ててくれました。

——弥二郎さんは次男ですよ？



明治11年（1878）頃の中村家
左より弥二郎（5歳）、長男・徳太郎（8歳）、父・弥作（33歳）、母・ヤサ（27歳）、三男・伝三郎（0歳）



明治 29 年 (1896) 初夏頃の弥二郎と便利堂店員

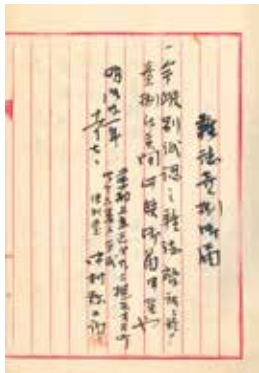
上段左より弥二郎 (23 歳)、番頭・土井一義 (17 歳)、下段左より弥二郎妹・ヒサ (10 歳)、四男・竹四郎 (6 歳)、ほか 4 名は店員。

てね。10 歳の時のことです。しかし兄が修行に出てからも、生活は逼迫するばかり。そこで少しでも生活の足しにと、父がタバコを仕入れ、私が売り歩くというタバコ販売を始めたの。

—— 10 歳から商売を始められたんです。

でも父は学問なしでは世界が狭いからと、苦しい中から私を中学に入れてくれてね。弁当は年中麦飯に梅干し、塩昆布。1 年間遅刻もなく頑張ったんだけど、トラホーム（眼感染症）のために 1 年半で中退を余儀なくされて。けれども父には感謝しても感謝しきれない。学ぶということを知ることができたから。その後の私の人生に大きな影響を与えることになりました。

右：「雑誌売捌御届 (控)」(明治 21 年 11 月 7 日)
左：「貸本目録 (草稿)」(明治 23 年 8 月号)



—— それは便利堂を興すことにもつながったのでしょうか？

学問を学ぶ中で本の魅力に出会い、これを生涯の仕事にしようと思い立ったのが便利堂の始まり。中学を中退した翌年の明治 20 年（1887）に書店として創業しました。学術書や教養書を販売や貸本することからスタートし、ゆくゆくは自分の興味ある内容の書籍を出版したいと思っていたね。

—— 創業期の資料として「雑誌売捌届」の控えと「貸本目録」の草稿が遺っています（上掲）。前者には『国民之友』



なるほど。でもどうしてこの「便利堂」という屋号にされたのですか？ 現代の我々からすると、一風変わった（笑）響きですが、命名は弥二郎さんですよ？

ちよつとこの明治 22 年の便利堂の広告（上掲）を見てくれるかい。

—— 書籍・雑誌だけでなく、新聞も扱っていたんですね。それだけでなく、「広告取次」や「絵画意匠（デザイン）」と、事業の幅が広いですね！

だから「便利」堂なんだよ。新聞は

で終刊になっちゃったから、自分の記憶からもすっかり消えていたよ。

—— 『文藝倶楽部』では、画家であり滑稽家でもあった久保田米僊をはじめとして富岡鉄斎や望月玉泉などの画家を起用し、表紙絵を描かせているところなど、以後のヴィジュアルブックをメインにしていくな便利堂スタイルの萌芽を感じさせます。ここに弥二郎さんが便利堂で出版した書籍で現存するものの書影を掲載しました（上掲及び次頁）。とはいえ、やはり内容は多岐に渡っていますね。

いろんなことに興味があつてね。『文藝倶楽部』で取り組んだ「雑誌」という媒体や「風刺」「滑稽趣味」というのは、

店売りが主流だったこの頃、便利堂は各戸配布を京都で始めた草分け。また、現在広告代理店大手の大広、博報堂、電通の前身が創立されたのがそれぞれ明治 26 年、28 年、34 年。明治中期はこうした広告代理店の黎明期なんだけど、これらに先んじて広告取次を事業として打ち出している。同時に近代的なデザインも求められる時代になってきたので、それも事業に加えてね。これら新時代の文化的ビジネスを全て一手に引き受けますよ、という「便利な店」が「便利堂」というわけ。

—— 当時では、ほかにない便利で最先端の事業というわけですね。

生来の新しいものの好きだから。錫屋もそうだけど、江戸時代までは基本的に一つの店は一つのことを扱う専門店だった。それを、書店だけじゃなく、これから商売になりそうな様々なサービスをワンストップで提供するというのが当時では斬新だったと思うよ。

—— 弥二郎さんは企画性とユーモアに富んだアイディアマンだったと聞いています。便利堂開店の翌年に申請した『便利燈』という二つ折の広報誌の出版願控（上掲右）には、「中村弥二郎著述、便利堂貸本広告を旨とし、滑稽文をもつて新字体に記載せしもの」とあ

—— 『文藝倶楽部』は、山田美妙による連載小説をはじめ、論文、随筆、狂歌、狂句など多彩なジャンルを含んだ雅俗折衷の雑誌ですが、滑稽趣味だけでなく、堅い内容も取り込んでいるところが、なんか弥二郎さんという人を表している気がします。

でも売れなくてね、残念ながら 2 号



明治 38 年頃の便利堂の店先

右のショーケースには、新たに手がけ出した絵はがきが陳列されている。

右より：
・『便利燈』の出版願控（明治 21 年 9 月 20 日）
・『文藝倶楽部』第 1 号（明治 22 年 2 月）
・『ナショナル第三読本難句弁明』（草稿）
大久保房次郎 / 記述（明治 25 年）



後に東京で有楽社という出版社を興した時に、近代漫画雑誌の草分けと言われる『東京パック』に結実することになる。有楽社では「英語」も大きなテーマになっていて、英語学習雑誌や日本文学などの英訳本を刊行していたんだけど、すでに便利堂でも英語参考書を出そうと企画していたんだよね（難句弁明）、結局は形にならなかったんだけど。便利堂から出した本で、最初のヒット作は明治26年に刊行した『福島中佐歓迎軍歌』だね。

——どういった内容なのでしょう？
福島安正中佐という人が、日清戦争前の明治25年2月11日にドイツのベルリンを出発して、単独で馬に乗ってシベリアを横断帰国するという前代未聞の快挙を成し遂げただけで、日本中がこの冒険に熱狂してね。これを讃える軍歌を出版したらバズるんじゃないかと思ったわけ。

——なるほど。でも実際に帰国されたのは明治26年6月末ですが、本が出版されたのは3月です。これは？

着いてからじゃ遅いの。商売は機を見ないと。3月の時点で中佐はシベリアの大部分を走破していてね、ゴールが確実視されていた。電信によって彼の現在地や順調な進捗が日本国内に逐

り行われたのが同30日。刊行が2ヶ月後の4月1日です。企画して大家に絵を依頼し、それを木版画にする作業を考えると思じられないスピードです。

他社（東京銀座の写真館「玄鹿館」）が『英照皇太后陛下御大葬写真帖』を出版したのが5月。どこよりも先んじて売り出すというのが商売の肝だからね。

——題辞は陛下の実弟、九條道孝公。収録された大喪儀の様子を描いた22図は神坂雪佳、竹内栖鳳といった錚々たる8名の画家に依頼されています。ちょうどこの前年に撮影した便利堂社員の皆さんの写真が残っていますが（6頁右上）、実際のようにして著名人にアプローチされていたのでしょうか？

番頭以下5名は店の仕事をしていたから、明治28年頃に兄の弥左衛門が戻ってきて便利堂を手伝ってくれるまで、基本的に出版業務は執筆交渉から編集まで一人でこなしていたよ。著名人に突撃して知遇を得るというのも『文藝倶楽部』の頃から得意だったしね。

——そんな持ち前の大胆さで知遇を得たのが内村鑑三だと聞いています。

明治24年の「不敬事件」で東京を追われて各地を流寓していた内村先生が明治26年夏に京都に来てね。住んでる家が便利堂から丸太町通を渡ってす

一報じられていて、国民の歓迎ムードはすでに最高潮に達していたから、このタイミングだ、と。

——さすがです。西洋列強に対して近代日本が自信と勇気を取り戻す一つの大きな出来事だったんですね。

空前絶後の一大社会現象だったなあ。おかげでこの本も売れて売れてね。英雄の凱旋を待ちきれない国民みんな、この歓迎軍歌を歌いながら出迎えの日をまだかまだかと。中佐が帰国した時は東京は大パニックだったよ。ところがこの本を出版した3月17日からすぐの19日、「日出新聞」（京都新聞の前身）の朝刊がこの歓迎軍歌を全文掲載してね、これにはさすがに頭に來たよ。訴訟やむなし、と揉めに揉めて…。

——なんと。どうなったのですか？
当時日出新聞の主筆だった児童文学者の巖谷小波は便利堂のお得意さんで懇意にしていることもあり、彼が間に入ってくれてね。新聞社が解決金を払うことでなんとか和解しました。

——よかったです。

そうそう、今号の「アートのある暮らし」で紹介されているコロタイプ・ポートフォリオ、植田正治《童暦》にテキストを寄せてくれているフランス

文学者の巖谷國士氏は小波の孫なんだよ、不思議なご縁だね。

——ほんとに。この後には『京名所写真図絵』『大葬図鑑』と続きます。前者は京名所を写真で解説したガイドブック、後者は英照皇太后の大喪儀の模様を京都の名だたる画家に描かせて収録した木版画集です。いずれもその後の便利堂のメインフィードを示唆するような企画となっています。

『歓迎軍歌』の大ヒットで経営としても一息つけたし、自信にもなった。企画のアイディアは色々あったけど、その一つが平安遷都1100年記念として明治28年に京都で開催された「第4回内国勸業博覧会」に合わせたガイドブック企画。でもただのガイドブックじゃない。当時最新の高級印刷技法である網目版印刷（写真凸版）による写真図版をふんだんに掲載した豪華版。製版印刷は、コロタイプを日本に輸入したことで知られる小川一真にお願いしました。

——やはり時の話題に素早く反応した企画が弥二郎さんらしいです。明治30年刊の『大葬図鑑』もタイムリーな企画ですが、皇太后陛下のご容態悪化の一報が出たのが1月9日、崩御されたのが同月11日、泉涌寺で大喪儀が執

で西陣織物店を営む旧知の友人を頼って再上京、彼が後援者となってくれたおかげで、翌36年末に出版社「有楽社」を立ち上げることができたんだよ。

——ここからユニークな出版物で一世を風靡する弥二郎さんの出版人としての歩みが始まるわけですね。

そうなんだけど、興味やアイデアが先行する氣質が仇になって、商売としてはとても成功したとは言えないね。父の遺した「金もうけするように」の言葉は実行できなかったよ。幼少から奉公に出ていて堅実な兄が便利堂を引き継いでくれて、その後も伝三郎や竹四郎、多くの社員のおかげで便利堂の今があると思うね。

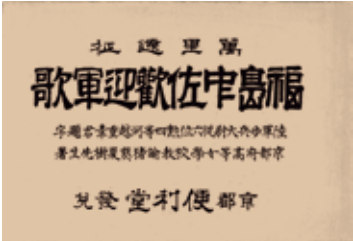
——次はぜひ弥左衛門さんにお話を伺ってみようと思います。これからの便利堂に期待することはありますか？

そんなわけで私が便利堂に携わった期間は14年ほどに過ぎない。便利堂140年のうちの1割。正直ここまで長く続くとは思ってなかったし、私が続けていたらもつと短命で終わっていたかも。これまでも山あり谷ありだったと思うけれど、ここまで来たら、ぜひ200年、300年を目指して頑張って欲しいね。

※過去にメルマガで配信したインタビューのバックナンバーはこちら



弥一郎の通した文章等を元に構成しました。



右より：
・『萬理遠征福島中佐歓迎軍歌』猪熊夏樹 / 著（明治 26 年 3 月 17 日）
・『京名所写真図絵』広池千九郎 / 著（明治 28 年 4 月 1 日）
・『大葬図鑑』中村弥二郎 / 編（明治 30 年 4 月 1 日）

巖谷小波（1870～1933）：明治 24 年に「こがね丸」で児童文学の地位を不動のものにする。25 年から 27 年まで日出新聞の主筆を務める。この出版トラブルの顛末は『巖谷小波日記』にも言及がある。



・『後世への最大遺物』内村鑑三 / 著（明治 30 年 7 月 15 日）
図版は初版本の書影を表紙に使った「現代語抄訳版（大山国男 / 訳）」
2016 年初版発行 ￥330



右より：
・『京都月報 第3号 臨時増刊「花の京都」』
口絵：小川一真 / 網目版印刷（明治 33 年 3 月 15 日）
・『裁縫手引草』呉 綾 / 著（明治 33 年 11 月 12 日）



「三伏の候」

小暑、大暑、盛夏、晩夏、処暑

「手紙なんてちょっととおおげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちよつと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょう。折々の季節のごあいさつをご紹介します。

相手の健康を気づかうお便り

梅雨も明け、今年も夏がやってきました。故郷のご両親やご友人、普段なかなかお会いできない方へ、暑中見舞いや残暑見舞いをお送りしてはいかがでしょう。暑中見舞いは小暑（7月7日頃）から立秋の前日にあたる8月6日までに送るのが通例です。立秋を過ぎ、処暑（9月7日頃）までに出す場合は、残暑見舞いとなります。どちらも、暑さで体調を崩しやすい時期に、相手の健康を気づかって送るあいさつ状です。

とにかく暑い！

夏の時候のあいさつは、本格的な

暑さが始まる少し手前の時季を指す

「小暑の候」にはじまり、「猛暑」「酷暑」「厳暑」「極暑」「甚暑」「炎暑」、そして立秋の頃の「大暑の候」、立秋から8月下旬までの「秋暑の候」まで、「暑」の字を用いた表現が多く見られます。バリエーションの豊富さが、とにかく暑いことを物語るかのようです。「夏」という字を使った表現には、小暑から大暑までの時期に「盛夏」「季夏」という言葉があります。その後「暮夏」「残夏」「晩夏」と、夏が終わりに向かっていく様子が表されます。暑さの最中にありながら、どこか夏への恋しさが滲む、美しい表現です。

夏は終わっても…

しかし。暦の上では秋を迎えても、暑さは簡単に去つてはくれませんよね。定番はやつぱり「残暑の候」：でしょうか。ほかに「処暑」「秋暑」などと表されます。そしてもう一つ、文字を見ただけで暑さにへばつていく様子が伝わってくる言葉があります。それが、「三伏の候」です。夏の盛んな勢いに秋の気配が伏せられることを意味し、土用の頃（7月20日から8月6日）を指します。今年はこの言葉が似合う夏になるのでしょうか。さわやかな絵はがきに暑さをねぎらう言葉を添えて、だれかの心へ涼を届けられたらすてきですね。

Season Greetings vol.26



〈朝顔図〉中村芳中

暑中見舞いに最適



季趣五題〈奉祝の夜〉山村耕花



〈面国橋の花火〉佐々木林風

季節のおすすめ絵はがき



美術はがきソムリエからの定期便

琳派—継承の美

- 毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。
- 月々わずか 1,000 円（税・送料込）
■半年間 6,000 円：月々 1,000 円（税・送料込）× 6 ヶ月※
- 今回も特典が盛り沢山！
①毎回、琳派の世界をやさしく解説した〈特製ブックレット〉付き
②全6回一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香（非売品）をプレゼント（先着 100 名様）



①



②



③

③さらにもれなく2大プレゼント

- ◆初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉
- ◆最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄 PHONE STICKER〉（定価 385 円）をプレゼント

※途中解約はいつでも可能です。月々の都度払いはクレジットのみとなります。くわしくは専用サイトをご確認ください。

絵はがきを飾ろう！●「美術はがき」がある暮らし
美術はがきソムリエの

絵はがきマリアーージュのススメ

今月のお題…盛夏の候とブックピン

京都便利堂本店にお越しいただくと

お料理とワインのマリアージュを楽しむように

季節のしつらえにピッタリの絵はがきを

美術はがきソムリエと一緒に選ぶ楽しさを体験していただけます。

このコーナーでは、誌上体験版として季節の絵はがきと

ディスプレイアイテムのオススメマリアーージュをご紹介します。

季節のおすすめを誌上大公開！

美術はがきソムリエ 増尾麻黄



ブックピン「Pi」

3 個入 シルバー ¥1,100 /
ゴールド・ブラック ¥1,210

はがき本体に穴をあけることなく、最小限の壁面ダメージで自由自在にレイアウトが楽しめます。耐荷重は約 1kg、カレンダーや額絵を飾るのにもおすすめです。（+d）



1



増…お気に入り1枚を額で飾るのも良いですが、絵はがき好きはどんどんコレクションが増えますよね？安…もう少し気軽にたくさん飾りたい！という方におすすめなのがブックピンです。
増…いろんな実用品を簡単に引っかけられますが、絵はがきもシンプルに壁に配置することができますよ。そこで今回は色合いや模様が映える絵はがきをセレクトしてみました。
安…いちご模様や雪佳の図案は縦横お好みで。物語的に何点か組み合わせせて飾るのも楽しそうです。
増…祇園祭に海外の風景も。旅行に行きたくなりませんか？旅の思い出の品や写真と一緒に壁を彩るのもおすすめです！



2



3

- 1 《祇園会》北沢映月
- 2 《鮎》福田平八郎
- 3 《朝顔》福田平八郎
- 4 《藍地いちご文様更紗裂》
- 5 《染織図案 海路》神坂雪佳 芸艸堂
- 6 《ベナレス》チャールズ・ウイリアム・パートレット
- 7 《踊り 上海ニューカルトン所見》山村耕花



4



5



6



7

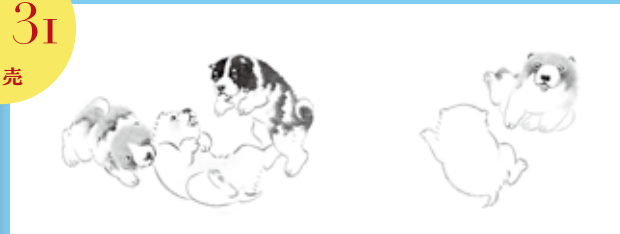
1～3 京都国立近代美術館
4 東京国立博物館
6・7 千葉市美術館
すべて ¥110



新商品&季節のおすすめ



7/31
発売

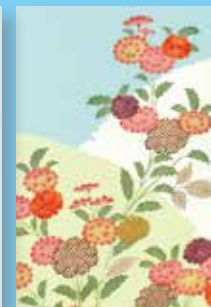


夏の暑さに少しの彩りを
〈手ぬぐい〉〈扇子〉

NEW
手ぬぐい
〈鶏図押絵貼屏風〉
伊藤若冲 ¥1,320

NEW
手ぬぐい
〈人物鳥獣画卷〉長沢芦雪
¥1,320

NEW
絵はかきセット
〈伊藤若冲名品撰〉
20枚組 ¥1,980



NEW
絵はかき
上段右より：
〈小袖 染分紗綾地雪輪山吹模様〉
〈同（部分）〉
〈中振袖 黄縮緬地向日葵月見草模様〉
〈同（部分）〉
〈振袖 赤縮緬地四季草花模様〉
〈同（部分）〉
〈振袖 黒金通し縮緬地流水に百花模様（部分）〉
〈小袖 萌黄縮緬地竹垣梅桜文字模様（部分）〉
各 ¥110



扇子
〈朝顔図〉鈴木其一
¥5,170（女性用）

夏にピッタリの〈縮小屏風〉で
お部屋をコーディネート

扇子
〈対柳居画譜 向日葵に飛蝗〉
¥5,170（女性用）

7/20
発売



NEW
縮小屏風
〈松島図〉俵屋宗達
¥11,000



縮小屏風
〈祇園祭礼図〉
¥9,350

NEW
マスキングテープ
〈新板化物づくし〉
¥550

やっぱり夏は
ズグッと「怪異のアート」で

NEW
絵はかきセット
〈河鍋晩斎名品撰〉
¥770



7/10
発売



NEW
A4クリアファイル
〈相馬の古内裏〉歌川国芳
¥330

7/30
発売



は京都

【特集】〈京都はん〉の楽しみ方

全20はん 各一三二〇円

京都便利堂が京都在住のアーティスト、ツペラツペラとコラボレーションした新しいカードシリーズ。「京都のさまざまなもの」をモチーフにツペラツペラが描き下ろしたイラストを便利堂独自のカラーコタイプ技術でプリントした「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番です。〈京都はん〉の「はん」は「版画」と京ことばの敬称「はん」を掛けています。

京都便利堂 × tupera tupera



photo: Shingo Mitsuno

tupera tupera
亀山達矢さんと中川敦子さんによるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』など著書多数。NHK Eテレ「ノゾーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。



「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番

便利堂本店では全種、公式オンラインでは〈舞妓はん〉〈京都タワーはん〉の2種が購入いただけます。

市内20か所のサテライトショップで各1種の〈京都はん〉を販売中

〈京都はん〉まち歩きMAPで京都めぐりをしよう！

さまざまな顔を持つ〈京都はん〉は全20種類。市内20店舗のサテライトショップにて各1種類の〈京都はん〉を販売しています。全種を集める京都めぐりもよし、お気に入りの1枚を求めて訪ねてもよし。各店であなただけの出会いをお待ちしています。サテライトショップ情報を掲載した専用スマホ地図「京都はんまち歩きMAP」をご用意しています。



美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました！

現在3コースをご用意。
お好みをお選びください！



増尾麻黄（ますお・あさぎ）
京都便利堂直営ショップスーパーバイザー。絵はがきを通して堅苦しいイメージがある美術品や美術の世界を身近に感じてもらえると嬉しいです。

〈美術はがき定期便〉は、私たちが毎月テーマを決めて、それにピッタリな絵はがきを選んで、お得なセット価格で皆さまにお届けする趣向です。

絵はがきを使う派、コレクション派、飾る派はもちろん、美術には興味があるけど詳しくない、という方にも、ちょっとした「学び直し」の機会になればいいと思います。

税込、送料込。
いつでも解約できます！



安野美奈子（やすの・みなこ）
京都便利堂本店店長。ご来店の際は、店頭にはない絵はがきもご提案させていただきます。お気軽にご相談ください。

便利堂の絵はがきは千種を超えますから、自分で選ばないような、思いがけないものが届く楽しみもありますね。

お届けした絵はがきをきっかけに「今度は本物を見に行こう」と旅が始まるかもしれない。この定期便がそんな出会いの機会になれば素敵です。

※定期便各コースはすべて異なる商品を収録しています。
※内容は予告なく変更になる場合があります。

●毎月のお届け内容：コロタイプ絵はがき〈季趣五題〉を含む絵はがき10枚＋特製ブックレット



毎回〈季趣五題〉（定価385円）が必ず1枚入っています。

付録として、お届け作品をやさしく解説したブックレットが毎号ついてくる！

●特典が盛りだくさん

もれなく、11月に〈わたしだけの絵はがきカレンダー2027〉（定価300円）、最終お届け月に、絵はがき全120枚が収納できる〈定期便特製コレクションボックス〉をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に〈ワイヤー絵はがき立て〉（629円）をプレゼント（先着100名様）



通常合計価格 1,675円 / 20,100円のところ

都度払い 1,200円 / 一括払い 14,400円

■1年間14,400円：月々1,200円（税・送料込）×12ヶ月

毎月1回
全12回
1年コース

●ラインナップ

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1月 〈よき塩梅〉 | 9月 〈秋の夜長に〉 |
| 2月 〈桜梅桃李〉 | 10月 〈はらぺこ美術めぐり〉 |
| 3月 〈春のうたげ〉 | 11月 〈烏兔匆匆〉 |
| 4月 〈清明〉 | 12月 〈はなむけの一葉〉 |
| 5月 〈青時雨〉 | |
| 6月 〈うつうつそう〉 | |
| 7月 〈清々しい「青」〉 | |
| 8月 〈夏バテを吹き飛ばす！〉 | |

毎月ふみの日に届く

「美術はがき」のある暮らし

美術はがきソムリエからの

定期便

※途中解約はいつでも可能です。
月々の都度払いはクレジットのみとなります。
くわしくは専用サイトをご確認ください。



●毎月のお届け内容：絵はがき8枚＋特製ブックレット



付録として、お届け作品をやさしく解説したブックレットが毎号ついてくる！

●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル〈浮世絵年表・用語集〉、最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ〈浮世絵A5変形クリアファイル〉（定価385円）をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に〈プッシュピン式絵はがき立て〉をプレゼント（先着100名様）



通常合計価格 1,180円 / 7,080円のところ

都度払い 1,000円 / 一括払い 6,000円

■半年間6,000円：月々1,000円（税・送料込）×6ヶ月

●ラインナップ

- | |
|--------------------------------|
| 1/7月 〈美人画クロニクル ～春信、歌麿から英泉へ～〉 |
| 2/8月 〈北斎と広重 ～200年前の日本の風景〉 |
| 3/9月 〈掌の芸術 ～摺物と版本の魅力～〉 |
| 4/10月 〈幕末から明治へ ～国芳・晩斎・芳年と新版画～〉 |
| 5/11月 〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉 |
| 6/12月 〈歌麿と写楽 ～仕掛け人・葛屋重三郎～〉 |

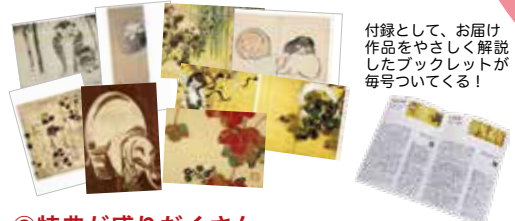
毎月1回
全6回
半年コース

琳派—継承の美

琳派だけの深掘り半年プラン

毎月1回
全6回
半年コース

●毎月のお届け内容：長型はがき（6回計14枚）を含む絵はがき8枚＋特製ブックレット



付録として、お届け作品をやさしく解説したブックレットが毎号ついてくる！

●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉、最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄PHONE STICKER〉（定価385円）をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香（非売品）をプレゼント（先着100名様）



通常合計価格（平均）1,273円 / 7,640円のところ

都度払い 1,000円 / 一括払い 6,000円

■半年間6,000円：月々1,000円（税・送料込）×6ヶ月

●ラインナップ

- | |
|------------------------------|
| 1/7月 〈受け継がれる意匠 ～金と色彩～〉 |
| 2/8月 〈琳派の源流 ～本阿弥光悦と俵屋宗達～〉 |
| 3/9月 〈琳派の水墨 ～墨と筆の表現～〉 |
| 4/10月 〈花ひらく琳派 ～尾形光琳と乾山〉 |
| 5/11月 〈受け継がれる意匠 ～草花図—変奏の系譜—〉 |
| 6/12月 〈江戸琳派 ～酒井抱一と鈴木其一～〉 |



京都便利堂本店

お盆期間(8月13・14・15日)も通常営業にてお待ちしております。

便利堂本社1Fには、美術商品を取り揃えた京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00～19:00

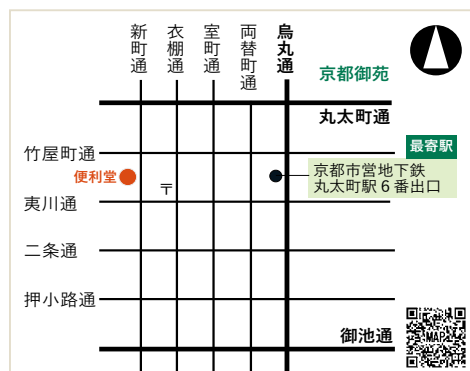
【定休日】 日・祝日 ※6/30、7/3は臨時休業

【Telephone】 075-231-4351(代表)

Instagram@kyoto.benrido

X@kyotobenrido

facebook@kyotobenrido.shop



【アクセス】

〒604-0093

京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

〈公共交通機関でお越しの方〉

- ・市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ⑥番出口より徒歩7分
- ・市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩5分



〈お車・タクシーでお越しの方〉

- ・京都駅から15分、お客様駐車場あります。
- ・タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上がる」とお伝えください。

コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプギャラリー〈夏秋季〉展示

①「第14回社員ワークショップ」展 & ②常設展示「コロタイプの世界」展

京都便利堂本店がある便利堂本社には、さまざまなコロタイプ作品を展示する〈コロタイプギャラリー〉が併設されています。夏秋季展示として、社員自らコロタイプで作品制作した①とコロタイプをさまざまな角度から紹介する②を開催予定です。

〈第14回コロタイプ 手刷りプリントのおもしろさ〉展

①ギャラリー1



会期：① 2026年6月15日(月)～7月11日(土)

常設展示 〈コロタイプの世界〉展

②ギャラリー2



会期：2026年6月15日(月)～9月12日(土) ※①会期後はギャラリー1にも拡大展示

開廊：10:00～12:00/13:00～17:00 休廊：日・祝日(7/3は臨時休業) 入場：無料